

## 第2回秦野こども未来づくり会議の実施結果について

「秦野こども未来づくり会議」は、「いじめが起きにくい学校づくり」に向けた各校の取組を推進するとともに、これからの学校づくりやまちづくりに児童生徒の意見が反映される新たな仕組みづくりを目指しています。

第2回は11月に開催される「第30回全国報徳サミット秦野市大会」、「市制施行70周年記念式典」で発信する「大会宣言」の作成に向けて、報徳仕法（至誠・勤労・分度・推譲）を未来に繋いでいくために学生団体E4にも参加いただく中、協議を深めました。

### 1 日時

令和7年8月22日（金）

午前9時30分から正午まで



### 2 会場

秦野市立堀川公民館



### 3 参加者

- |               |     |
|---------------|-----|
| (1) 児童生徒委員    | 39名 |
| (2) 教職員       | 36名 |
| (3) 来賓        | 3名  |
| (4) 学生団体E4    | 9名  |
| (5) 教育委員会事務局等 | 11名 |
| (6) 合計        | 98名 |



### 4 内容

#### (1) アイスブレイク

はじめに学生団体E4をファシリテート役に協議を進めるに当たり、自己紹介を各中学校区で行いました。自分の趣味や夢中になっていることを発表することで緊張が和らぎ、和やかな雰囲気の中で協議を始められました。

## (2) 報徳仕法をすすめるためのアイデアについて

協議の前半では、学校や個人で考えてきた報徳仕法をすすめるためのアイデアについて、中学校区内で情報共有を行いました。「小中合同清掃」や「ありがとうの手紙」、「世代間交流」、「思いやり集会」などのアイデアが出され、それらが報徳仕法（至誠、勤労、分度、推譲）のどのキーワードに関係しているかについて議論を深めました。

## (3) 報徳仕法をすすめるために大切なことについて

後半は報徳仕法をすすめるために大切なことや自分たちにできることについて協議を行いました。協議では『役に立つ』という意識で行動することが大事。」や、「一人一人が報徳仕法について関心を持ち、後世に伝えていくことが重要。」「生徒会、委員会の思いや目的、行動、ルール、活動を引き継ぐとともに広報活動すること。」などの意見が交わされました。協議後には中学校区ごとに話し合いの内容を模造紙に記入し、可視化することで自分の考えや協議内容を整理し、まとめました。



## 5 今後について

今回は11月1日に開催される「第30回全国報徳サミット秦野市大会」と、同月3日に開催される「市制施行70周年記念式典」に中学生が代表として参加し、これまで話し合いを重ねてきた内容をまとめたものを「大会宣言」として社会に発信していく予定です。

また、小学生については、今年度の秦野子ども未来づくり会議の活動内容を自分の学校で報告することで、自身が学習してきたことについてのまとめの機会とするとともに、報徳仕法や秦野子ども未来づくり会議について広く知ってもらおう機会とする予定です。

